学生と、社会人と外国人のちょっとユニークなコラムマガジン 月刊CAMNET

CAMNET

campus network magazine
web magazine &
internet radio station
radio Camnet



「福岡に住む日々」著者
おぐらさん

好評連載
●感想の小箱「昭和レトロ…」
●和、のカッコ悪くたって「人…」
●パソコンオタクの「過酷な鉄道…」

今月のBIGプレゼント！
奥出雲 多根自然博物館 宿泊券、他

web information
■月刊 CAMNET
http://camnet.jp
■radio Camnet
http://camnet.jp/radio/
iPhone・スマホから
http://woorkstyle.com/radiocamnet/

2025
11+12月号
電子版

テラミンの写真館



10/13で閉幕となった 大阪・関西万博の西ゲート

大阪市の人工島・夢洲で開催されていた2025年大阪・関西万博が10月13日、閉幕した。

4月13日に開幕し、1日も休むことなく184日間開催。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、158の国と地域、9の国際機関が参加。期間中の総来場者数は2901万7924人となった。

閉幕日、会場内ではさまざまなイベントが行われ、167の国と地域の旗を掲げるパフォーマーやマーチングチームがEXPOアリーナ「Matsuri」から「大阪ヘルスケアパビリオン」まで大屋根リング下を練り歩く「フラッグパレード」を開催した。

夜には花火やドローンショーが開催され、花火を見ようとする人が押し寄せ、赤や青、ゴールドの花火が打ち上げられると歓声とともに拍手が湧いた。

（みんなの経済新聞（WEB）の記事より抜粋）

profire
teramin
岡山市在住
会社員
Nikon 派

ブログ　http://teramin.livedoor.biz/
ツイッター　http://twitter.com/teramin_now

今月の表紙はこの人！　おぐらさん

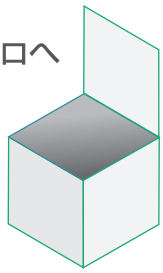


■プロフィール

おぐらさん
IQ71.
倉敷生まれ博多在住
岡山離れ早20年余、放浪の末に脱サラして11年前から福岡に定住。
一人遊びに明け暮れる日々、一生懸命人生を謳歌中。

感想の小箱

昭和レトロから平成レトロへ



最近時折、「平成レトロ」って言葉を耳にしますよね。

あの平成のアイテムが再評価されている流れ。

遂に昭和レトロから平成レトロの時代が来たのかと思う大人の人もいるはずです。

ところが、平成レトロって言っても、その初期の頃、実は「これ昭和じゃないの？」って言われがちな出来事やアイテムが多いのもあるある。

代表例でいうと、「ジュリアナ東京」は1991年オープンで、実はバブル崩壊後に誕生した平成のクラブであり、昭和末期のこのポジションは「マハラジャ」。ジュリアナの羽扇子やお立ち台は平成の風景なのに、未だに「バブルの象徴」でなぜか通っている。

他にも、カラオケボックスだって平成初期に一気に普及したもの。ただし岡山は発祥地だったので昭和末期色が強いのは尚更否めない。

今となっては主流である通信カラオケは1992年スタートで、平成に誕生している。平成初期ならではの現象が、レトロブームでも"昭和枠"に入れられて蚊帳の外は残念な現象。

この背景には、バブル崩壊が実際に起きた時期と、実際に人々の生活に変化が波及するまでにタイムラグがあったことも関係していると思います。

多分皆が思う昭和と平成の境界線がどこになってるのかとなると、おそらく1995年。

阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件など、社会の空気を大きく変える出来事が立て続けに起きた一方で、Windows95が登場したことでインターネットが一気に広がり、今の時代につながる流れが本格的に始まった年でもある。だからこそ平成レトロの基準点は1995年以前以後なんだろうなと思います。

T-LEVEL

profire **T-LEVEL**

ずーっと岡山県在住.

映画、ラジオ、PC&スマホガジェット、旅行、スポーツ観戦、食などなど、その時自分のアンテナに引っかかったものを感想の小箱として発信!

月の出ぬ間に

「うみ」を掲載いただきました！…「うさぎのきもち」誌 VOL.7

紫水DANNA勇太郎/居待月

うさぎと幸せに暮らすための情報が盛りだくさんな実用書「うさぎのきもち」誌VOL.7に、なんと我が家の愛うさぎ「うみ」が掲載されました！

「うさぎのきもち」誌と言えば、2019年から毎年1回発行の、うさぎ専門書としては貴重かつ毎号とっても厚い内容の本。

掲載いただいたのは特集「みんなの牧草奮闘記　牧草をたくさん食べてもらうには？」のページ。それもなんとカラーで見開き2Pですよ。いやぁこんな晴れの舞台は滅多にございません。

内容も激アツですよ。

うちの「うみ」の牧草ジプシーが始まった経緯から現在に至るまで、そしてその間つけ続けた牧草やうんち、水等々の記録ノートのお話や、現在あげているやたらと種類の多い牧草をすべてお伝えし、その置き方や置いてある場所のレイアウトまで、そんな暑苦しい情報を、まぁ見事に読みやすく、しかもキュートな感じでまとめてくださいました。



まぁうさぎにとって牧草をいかにちゃんと食べてもらえるようにするかは本当に大切なこと。それなのになかなか食べてくれないうさぎさんもいて、それがまたなかなか悩ましいところです。

そんなみなさん、うちの「うみ」あれやこれやなトライが少しでもお役に立てればうれしいです！

「うさぎのきもち」誌は全国書店、アマゾンでご購入いただけますので、是非是非っ！

うちの「うみ」の様子はYouTube「うさぎのうみちゃんねる」でもご覧いただけます！

こちらも是非ご覧ください！

profile **紫水 DANNA 勇太郎**

あらゆるジャンルの表現者・アーティストと出逢えるサイト「Spinart- スピナート」運営。

ミュージシャンとしても音楽作品を各種サブスクメディアでリリース中。

愛うさぎ「うみ」の YouTube 動画「うさぎのうみちゃんねる」のおじい。

Web 戦略企画制作、Web・SNS 関連著書多数、スタッフ育成、Web 運用セミナー講師、等。

詳細プロフィールや連載記事はこちらからご覧ください。

https://www.spinart.jp/contents/writer/utaro-shimizu.html



漢・賢一（おとこ けんいち）の point of view



～秋は短し～

今年の夏も長く続くなと思っていたら、急に朝晩涼しくなり体調管理が難しい今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

私は短い秋を堪能するために七輪でサンマを焼きましたよ！



今年のサンマは、例年にない豊漁みたいです。

買ったサンマも身が大きく脂が乗っていました。

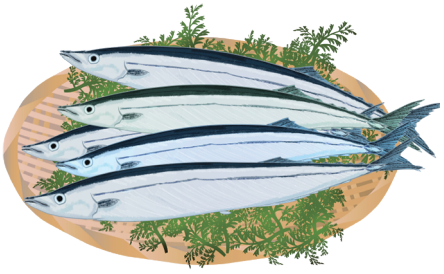
8月中旬から初水揚げが報告され、水揚げ量も昨年を上回っており、価格もお手頃。

海水温の上昇によって、サンマのエサとなるプランクトンが増加したことが豊漁の原因と言われています。

ちなみにサンマには胃がなく、食べたものをすぐに消化・排泄するので、体内に排泄物が溜まりにくく内臓が比較的きれいな魚です。

そこで発生するのが、内臓を取らずに焼くか、取って焼くか問題です。

私はそのまま焼く派です。





やはりサンマと言えばビールでしょう！

工場見学に行ったキリン一番搾りで乾杯！

キンキンに冷やした備前焼のビアカップで飲むのが最高です。

ちなみのこのビアカップは伊部の宝山窯さんで購入しました。

備前焼でビールを飲むと泡がクリーミーになって美味しいです！



今年のサンマは本当に大きくて美味しいので、是非皆さんも焼いて食べてみてくださいね！

profile 森岡賢一（もりおか・けんいち）

昭和54年5月26日、岡山生まれ、ロック育ち。悪そうな奴は大体避けてきました。

ラジオディレクターから田舎の電気屋に転身。

プライベートでは岡山のインディーズバンド「ホバーボード」のドラムを担当。

また地元備前市の映像チーム「MT-MOVE-MODE」のメンバー。

普段の生活でも視点を変えれば違う世界が見えてくる。そんな話ができたらいいかな。

radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める 5 度目の秋です。穏やかな日常の中で音楽や自然と向き合いながら、過ぎ行く時を楽しんでいます。

このコラムは二か月分なのでリアルタイムな様子ではなく、一年前のメモリーをお伝えします。



11 月の岡山映画祭、大西貴也（左）監督作品「村ぞ，生けり。」の上映がありました。

その前の映画の主題歌を歌った「おりゆき」さん（2022 年は一緒に LIVE もしました）もご一緒に記念写真。



児島半島の南端付近、下津井瀬戸大橋（1447m、吊橋）が正面に見える展望台の晩秋の夕暮れです。



真庭市神代に四季桜と紅葉が並んで見える所が国道 181 号沿いにあります。季節の競演そして饗宴です。



年に 8 回（三ヶ月に二度）湯原温泉で会議です。はんざき（オオサンショウウオ）が有名でパクっと食べられそうなモニュメント。



12 月初旬、赤穂市のフリマ盛上げ LIVE は加里屋まちづくり会館、ソロでした。出番の後、義士ゆかりの花岳寺や赤穂城も散策できました。



さて、12 月中旬、積雪の朝でした。一気に冬景色です（2024 ～ 25 の冬は結構、雪が長く続きました）。通勤路の風景。



倉敷市の川崎医療福祉大学のキャンパス、モニュメントと薔薇の花壇です。この時期は所用で倉敷に降りる事が多く、この辺りの朝の散策も頻繁でした。



ここは美咲町、棚田が広がる風景の中、山奥の「ココペリ」さんです。自家製酵母と国産小麦のハード系のパンがおいしく、寒い日でしたけど陽射しがあったのでテラスで食べさせていただきました。

さて、」オリジナル曲の歌詞紹介。大槻の作詞作曲でサブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として 11、12 月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りをする予定です。なんと 1979 年に作った曲「燃える秋」。

……

舗道に伸びた 私の影に　あなたが 少し近付く
小さな肩に 優しさだけの　あなたの 腕がかかるの
　街路樹は 葉を落として
　震えてる 街は寒い
　夕闇が 外套の上
　重すぎる季節ね
たとえそばに あなたがいても　心は 北風の中
同じ愛を 演じる気なら　もっと烈しく 抱きしめて

♪オリジナルCD プレゼントします！ 詳しくは プレゼントコーナーで

口紅の朱で 隠し切れない　私の 冷えた想いを
口先だけで 慰めないで　私は 焔が好きよ
　行きすぎる 前照灯（ヘッドライト）
　一瞬の 夢を乗せて
　出来るなら 旅立ちたい
南への 航空機（ジェットプレーン）
凍る空を 燃え上がらせる　強さで 接吻をして
それで愛を 求める気なら　もっと烈しく 抱きしめて

……

二か月分のコラムですので，時事的な話題は避けてしまいますが，国際和平和や，天災からの復興を祈念し続けています．

プロフィール　大槻　剛巳（おおつき たけみ）

1956年：京都府福知山市生まれ
1970年：京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
1972＆75年：NHKあなたのメロディー出演
1974年：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
1977年：YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
1981～2021年：川崎医科大学血液内科～衛生学
1992～1996年：米国留学（ミネソタ大学＆NIH）
1997＆2024年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnetラジオ：パーソナリティー開始
2011年：Camnetマガジン：連載開始
2014年：サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
2021年：新庄村診療所所長（現職）



算盤組立職人

Vol.02 面接は舞台

「そそ」

「まあ何にせよだ、これからの自分が今までの自分より楽になる生き方を選んだんだよな？」

彼は軽くうなずいた。

「ならいいじゃないか。頑張りすぎずに頑張れよ！」

「了解？。てなわけでだよ、佐藤くん。」

いつもの彼に戻ったようだ。

「明日面接を受けようと思うんだよ。」

「そりゃまたエライ急な話だなぁ。」

「今日が募集の締切だったらしいんだよね。で、明日面接と。」

締切後、すぐ面接を実施するとはあまり人が集まらなかったのだろうか。伝統工芸の仕事だからそうそう集まるとは思えないから採用決定かな。やれやれ。

そして面接のため指定された場所に彼は向かった。

「予想通り人が集まらなかったようだなー。」

閑散としている待合室を見て彼はそう呟いた。

「龍雲さん、お入りください。」

緊張しながら扉を開いた。

「げっ。」

声を出さず表情も変えずに彼は驚いた。12人の面接官が並んで座っていたのである。

「円卓の騎士かよー。」

一列に並んでいるので円卓ではないが、彼の語彙で一番近いのはそれだった。

「はい、それでは自己紹介をお願いします。」

「えー、私は龍雲と申します。」

さすが演劇経験者、また通らないであろう数多のプロジェクト面接を通ってきただけあってスムーズに面接は終了した。

「いつもながらイヤな舞台が終わったよー。」

「お疲れ様。」

常に彼は「面接」のことを「舞台」と言う。自分の事を自分の言葉で話をすることがとても苦手らしいので、毎回シナリオを書いてその「自分」を演じるらしい。とても器用なヤツだなと思う。

「で、面接の手応えはどうだった？」

「そんなの心配することないのだよ、佐藤くん。我がシナリオに一片の隙なし！」

どこかで聞いたようなセリフだなと思うのだが、それはスルーしておこう。

「じゃあ来月辺りからめでたく伝統工芸の職人だな。」

「まあ、上手く面接に通ったらなー。試合は最後まで何があるかわからんし。」

彼が通らなかったら誰が通るんだ。とりあえず安心だな。

「では追って結果を伝えますよ。」

「ああ、わかった。期待してるぞ。」

そして1週間が経ち、面接の結果が届いた。

「なっ！？」





profire 高山辰則(龍雲)

2014年より、伝統工芸士/宮本一廣氏のもとで修業。

2015年に播州小野算盤工房shinを立ち上げる。

「全ての人ではなく、できるだけ多くの人に気に入ってもらえる商品を作れ」という師の言葉を継承し、伝統的工芸品づくりを通じて、その歴史や技術を後世に伝えるために日々努力をしています。

【工房名 / 職人名】

播州小野算盤工房shin / 高山辰則(龍雲)

和、のカッコ悪くたってええやないの



第58回　人生楽しんでる人は“楽”をしてない

最近特に思うのが、「やりたいこと」を諦める人が多いということ。
自分の“やりたい”よりも、誰かや何かを優先してしまう…
気づいたら自分の中での優先順位がどんどん下がっていって、いつの間にか「自分を生きること」を後回しにしている人が多い気がします(T_T)

そうなると、どうしても文句や愚痴が増えてしまう。
楽しそうに生きている人を見ては、
「真面目に安定した生活をしてる人もいるのに」とか、
「他の人は家のことも仕事も頑張ってるのに」と、
そんなふうに比べてしまう。

でも、楽しそうに生きてる人って、
決して“生きることをサボってる”わけじゃない。
むしろ誰よりも全力で生きてる人たちだと思う。
悩んで、迷って、それでも「やりたい」に正直でいようとしている。

僕もそう。
楽しいことばかりじゃないけど、
やりたいことを優先して生きている時が、
一番“自分を生きてる”と感じられる。

「やりたい」を後回しにして、
“誰かの期待に応えるための人生”を選ぶのは簡単です。
でも、
“自分の心を大切にして生きること”の方がずっと難しい（汗）
でもそれが本当の意味での「生きる」なんじゃないかと僕は思います！

やりたいことを優先して生きている人は、
わがままではないと思います。
自分の人生を真剣に生きている人！
そんな人の方が若々しく見えます（笑）

だから僕も
自分の「やりたい」を諦めずにどんどん、どんどん優先していこうと思います＼(^o^)／

profile　和、（かず）
1987 年 8 月 11 日 14 時 30 分生まれ。
神戸生まれ神戸育ち、お洒落の街に似合わないアゴ長野郎。
毎月、尼崎ショッピングモールのイベントでアホな事、ついでに歌もやってます。
インスタ
https://www.instagram.com/kazu_dayoooo/
YouTube
https://www.youtube.com/channel/UCNxWBSIgbU0xi9II3Aqzm_g
HP
https://vocal-kazu.com/
Twitter
https://mobile.twitter.com/kazudayonyon
【FM ラジオ絶賛放送中】
和、のネガティブ cafe
FM MOOV KOBE 76.1MHz　毎週水曜日 19:00 ～ 19:15
※放送終了後に配信されています！
http://fm-moov.com/haishin/kazu/index.html

ハンティングの　自分の心をハンティング！

第52回　ライブ！

ライブはいいですねぇ！

見るのもやるのも良い！！

人間、いつまでも若くいる為には、

適度な緊張感も必要らしいです！

なので、ライブは健康にも若さを保つのにも必要なんですね！

半年に1回のライブですが、今回は10月11日！

よし！がんばるぞ！！！



profile
ハンティングゆう
岡山のお笑い芸人。
岡山表町でハンティングカフェをやってます。
インターネットラジオ
radio Camnet　絶 賛 放 送 中！
■CHANNEL-B
(毎 01 日更新)
SHOW 激 DAN の "radio Camnet" 笑いま SHOW タイム！
MC：ハンティングゆう
（ おかやま表町 3 丁目局 ）
ハンティングカフェスタジオ
岡山を拠点に活動している芸人集団 SHOW 激 DAN です！
個性的なキャラクター、オリジナリティーの高いネタやトークを存分に味わえる SHOW 激 DAN ！
北海道から沖縄、海外にまでファンがいて、自分達のライブでは全国から岡山に集まるほどになりました！
毎回、色々な内容でお届けするこの番組！ぜひお楽しみください！









本当の中国が見えてくる

日本人妻の歯ぎしり ～みんなどこかの外国人～

上海でも、ようやく秋の入り口が見えてきた。今年の夏は長かった！　来る日も来る日も35℃前後の暑さが続き、何だか気持ちまで疲れた。

気持ちが上がらなかった原因はまだある。この夏、上海総領事館からのメールが多かったことだ。外国に三ヶ月以上滞在する場合、領事館に「在留届」を出す決まりがあり、その際、メールアドレスも登録するため、領事館や外務省から、時々メールが送られてくる。主に、手続き関係のお知らせや、感染病などの情報、安全対策情報などだ。普段なら、たまに届くそれらのメールも「私の存在を覚えていてくれたのね！」と、ありがたく拝見するのだが、ここ数ヶ月は、「トラブルに巻き込まれないための注意喚起」のメールが多く、看過できない状態になっていたのだ。「反日感情が高まりやすいとされる、日中間の歴史にかかわる日」が夏場に多いことや、「抗日戦争勝利記念日」に軍事パレードが開催されたこと、某都市の日本人を狙った事件などを受けての注意喚起のメールだ。「自分は外国人であることを常に意識するように」というもので、具体的には「現地の習慣を尊重する」「大声で日本語を話すことは控える」「一見して日本人と分かる服装を避ける」などが書かれている。初めの頃は、「ああ、そうだ、気を引き締めて暮らさないと」とも思えたが、週二度のペースでこの由のメールが届いた頃には、さすがに気分も滅入り、外出する気もなくなった。人とすれ違うと、「この人、日本が嫌いかも、気付かれないように下を向いて歩こう…」などと思えてくる。

中国では、学校での反日教育のせいで、日本や日本人を良く思わない人がいることは知っている。しかし、今まで20数年住んでいて、日本人であることが理由で嫌な目に遇ったことはない。むしろ好意的に受け取られていると感じることが多かった。それだけに、領事館からのメールは、自分の無防備を指摘されたようで、気分が重くなった。そして、ここでは自分が胸を張って生きられないという気持ちにもなった。

先月、夫とめずらしく洋食を食べに行った時のことだ。隣の席は若い夫婦で、テーブルにはココアパウダーで「anniversary」の文字。男性の腰には、関西万博のキャラクター「ミャクミャク」が下がっていた。私たちは、「あの『ミャクミャク』は本物？　偽物？　どこで買ったの？　万博に行ったってこと？」などと、「ミャクミャク」の話をヒソヒソした。食事も終わる頃、デザートが来た。我々にはランチコースの中の小さなケーキ、隣には大きめのチョコケーキと、この日のためにレストランが用意したお祝いケーキの二つが運ばれて来た。その時、隣の女性が「あの、このケーキ、食べませんか？」と声をかけてきた。びっくりしている私に、「自分たちは何度も日本に行っていて、今回も関西万博に行って来た。日本では、日本の人にたくさん助けてもらったから、これは日本人のあなたに…」と、チョコケーキをくれた。男性は、腰から「ミャクミャク」を外して見せてくれた。本物だった！

中国は、10月1日から国慶節と中秋節のダブル祝日の8連休に入る。外国旅行に行く人も多いことだろう。うちの工場の張さんも、家族で初めて日本へ旅行に行くと楽しみにしている。今、世界中で移民が問題になっているが、旅行客も、世界各地で暮らしている外国人も、「私は○○人です」と胸を張れているだろうか？　レストランで会ったあの夫婦のことばは素直にうれしく、私もここで少し胸を張って生きられそうに思った。そして、こんな小さなつながりが地域や国を越えて広がっていけば、ひょっとして将来、何かが変きっかけになるかもしれない。私も誰かにつなげていこう。

写真

＊普段はお弁当を持って行きますが、暑い日はデリバリーにしてみました。

上海でも昼食や飲み物のデリバリーは大流行。お昼近くなると、みんな「今日、何食べる？」とスマホをクルクル。配達のお兄ちゃん達も電動バイクで大忙しです。

1.「ホットサンドとカフェオレのセット」。ホットサンドの中身はハムとたまご。パンがおいしく満足。約450円（写真左上）

2. 有名麺屋チェーンの「混ぜ麺」。これは小麦粉の麺じゃなく、でんぷんで作った麺で「粉」といいます。私はこのつるつるの食感が好きです。約880円（写真上中央）

3. 従業員が「安売りのサイトが」あると言うので、「焼きそば」を注文してみました。日本のようなソース味ではなく、たまり醤油の焼そばです。初めは違和感がありましたが、慣れればこれも美味。約320円

4. これも安売りサイトからの「炒飯」。味はともかく、ごはんが…残念。大量作り置きの結果でしょうか。約280円（写真右上）

＊最近買った「にんにく粉砕器」です。

5. にんにくのみじん切りは面倒だし臭いが…で、この手の道具を探して、これは二つ目。中に波状の歯が付いていて、上のレバーを押すと切れるしくみです。

6. みじん切り、できました。でも広告の動画では4，5回レバーをポコポコしただけできれいなみじん切りができていたのに、実際は3～40回でした。



profile　さねみつ　じゅんこ

岡山県出身　上海市在住　家族：夫、犬1匹、猫2匹。

1989年　大学卒業後、教育・福祉関係の仕事に就く。1997年 中国人の夫と結婚。
1998年　夫の赴任で上海に引っ越し、上海済経大学で中国語を学ぶ。
2000年　日本語教師の仕事に就く。
2005年　上海同済大学大学院入学。
2008年　卒業。
2008－2011年　病気治療のため日本に帰国
2011年　上海に戻り、夫の経営する会社の工場勤務　今に至る


⑥


⑤



③

A New Direction

Looking for beauty in the darkness of night

Looking ahead to the unknown

The end of the year comes barreling towards us all. We reflect back on the previous. We may feel regret or we may feel satisfied. We also feel some anticipation to the year ahead. New year. What will it bring? A path that is not forged. A path where we do not always know what is around the corner. Enjoy the journey. Seek new adventures.

Settings: ISO 200 f/2.8 @ 1/6
Camera: DJI Mavic 3 Pro 24mm



Trevor Williams was born and raised in Vancouver, Canada where he married his Japanese wife. Looking for a change of pace, he moved to Okayama, Japan in 2001 where he has lived ever since. He is currently working as a photographer shooting mostly lifestyle and a wide range of other assignments. He spends his spare time photographing the night.



小橋敏弘の ニッポン大好き！Hello Japan

ヨーロッパ在住40余年、外から見ていた日本！

Vol.24 スイスの普通の村 Escholzmatt

この村に築175年ほどの古民家を購入し住み始めてはや四半世紀がたちます。日本と違い村には多くの若者もまだ住んでおり、村の過疎化などほとんど耳にしません。電車で40分ほどのところに位置するLuzernという街に通勤、通学する人を、朝晩、村唯一のSBBのEscholzmatt駅にて目にします。では日本のように若者が村を離れLuzernの街へ移住するかと言うとどうもそうではないようです。村の若者のコミュニティは独特で、家業の酪農を営む若者もいれば、大きな街LuzernやBernに毎日通勤通学をしている若者が多いのも事実です。

なぜなら筆者もここEscholzmattに住みだしてからの2002年から2020年の18年間は、毎朝晩、電車でLuzernの街へ通勤をしておりました。ちなみに日本と違ってローカル線ですので、4人席の椅子を独り占めできるぐらい乗客数は少なく、妻の手作りのサンドイッチにコーヒーを飲みながらの快適な通勤生活でした。

話がとびましたが、朝晩の通勤電車の乗客の顔ぶれは多彩で、若い学生もいれば普通のサラリーマン風の乗客いたり、秋の気候の良い時期には幼稚園児や小学生が先生に引率されてLuzernの街へ遠足のような風景も良く目にしました。幼少のころからの社会見学を通して、過疎の田舎生活の良さを間接的に教えているようにも思えました。

さて前置きがながくなりましたが、今日のメインテーマはこの村唯一の介護老人ホームについて、日本の読者の皆にちょっと詳しくご紹介したいと思います。前回のコラムでスイスの介護施設使用料金がいかに高額かをご紹介しました。物凄い読者からの反響でした。これではおちおち親父を老人ホームへ入居させられないなあと言う感想もありました。では今日は、その介護ホームの一施設に関してご紹介します。

これもスイスならではのコンセプトですので、日本人の読者の方にはなかなか理解出来ないかと思います。このコラムを書いている筆者でさえ、当初はなかなか理解できませんでした。



Escholzmattの介護施設ホームに隣接されているパークについて、そのコンセプトとその背後に意図されていると思われる趣旨を少しずつ、筆者の感じるがまま解説させていただきたく存じます。

施設の入居者数は100人にも満たない比較的小規模の養護老人ホームですが、施設の敷地の半分以上のスペースを憩いの場にとられています。ではその憩いの場とはどんなコンセプトなのか。



その憩いのパーク内には、周りの自然環境と調和されるグリーンの芝が多くしきつめられ、施設の正面玄関前に設けられている駐車場を含む喫煙スペースエアリアでも、多くのグリーンの芝が上手く配置されています。憩いの中心は24時間いつでも利用できるオシャレなパークです。24時間と特に記しました通り、真夜中の暗い時間帯でも目に優しい照明がなされており、車いす専用回廊も設置されています。その経路はパーク内を蛇行しながら散歩できるようになっており、ベンチ椅子も多く設置され、その施設をご覧になるとプライベートエリアが多いのには驚かされます。若いカップルの隠れスペースにも利用できるぐらいです。これは余談でしたが、そのパーク内には大きなスペースでウサギが飼われていたり、沢山の樹木、花が散歩道沿いに植林され、まさにフラワーガーデンそのものです。

加え、子供たち、特に入居者の孫たちが遊べるプレイエリアもちゃんと設置され、ちょっとしたミニテーマパークと言った感じです。ここなら小さいな子供は勿論、大人でもエンジョイ出来そうです。

ではここからが本日の最重要ポイント。

なぜここまで介護施設内のパークや駐車場に多くの予算をつぎ込むか。筆者が色々と考えぬいた答が、「施設に入居している老人の家族、メインのターゲットはお孫さん、曾孫さんをいかに施設まで足を運ばせるか」ではないかと言うことです。つまり入居者の子供たちは、結局のところ一辺倒の返事しかしませんが、幼い孫たちは自分の気持ちをそのまま、入居者のおじいちゃんやおばあちゃんにぶつけてくるので、世間体など気にしない幼少の子供しか、人間としてのコミュニケーションはできない気がします。「汚いものは汚い、臭いものは臭い」と言えなくなる大人より、正直におじいちゃん、おばあちゃんと話が出来る孫や曾孫との会話の機会を作るために、子供がまた来たくなるようなパークや、幅広い駐車スペースを作っているのではと察します。

加えて、筆者も当初、一日の大半を部屋で過ごしている入居者や四六時中入居者のお世話をしているスタッフのためにしては非常に非効率不採算性の象徴のような隣接パーク、その隠されたコンセプト、さすがスイスですね。

日本の老人ホーム経営者にも少しは見習ってもらいたいものです。日本のいくつかの介護老人ホームは、中央玄関を入るとまるで五つ星の超豪華なホテルの様なレセプション、そんなところばかりにお金をかけても、入居者のおじいちゃんおばあちゃんが一番会いたがっている孫たちの興味を誘ううわけがないと言う事を理解していないんでしょうかね。上っ面ばかり重んじる金儲け主義の経営者が多いのには、誠に腹立たしさを隠せません。



写真/筆者（右）と妻

profire 小橋敏弘

年齢、もうすぐ70歳。

1975年からヨーロッパ在住。その大半はスイスの企業にてサラリーマン生活をし、64歳からリタイア生活をエンジョイしています。

学生時代をイギリスで過ごし、大学卒業後はスイスに移住。孫6人に囲まれている爺さんです。

趣味は何にでも興味を持ち、最近ではChat GTPを駆使して、幅広い分野を勉強中。

母国語日本語を再勉強しながら、ドイツ語、英語も同時に駆使し、ヨーロッパ各国に住んでいる友達とコミュニケーションを取っています。

唯一、体を動かす趣味は、ここ10年ほど毎週一回ぐらいのペースでやっておりますCountry Line Danceです。

No.45　過酷な鉄道運用からプログラミングの要点が見えると思う



先日、奇跡的に大相撲のチケットを入手でき、名古屋まで観戦に出かけた。2日目は犬山に立ち寄ることに決め、往復とも名古屋鉄道の電車を利用した。

「名古屋鉄道の名古屋駅」と聞けば、多数の線路を備えた大規模ターミナルを想像するだろう。しかし実際は大きく異なる。上下1線ずつしかなく、当駅止まりの電車を留置する待避線もない。地下にあるため、見た目は地下鉄の中間駅のようである。ところが、ここに乗り入れる路線は6路線に及び、それぞれに普通、準急、急行、快速急行、特急、快速特急とJR以上に多彩な種別が設定され、行き先も多岐にわたる。こうした列車が、細い"名古屋駅"という管に絶え間なく押し寄せるのだ。

このカオスな運用は鉄道ファンの間では有名で、ぼくもYouTube動画などで見て知ってはいた。今回が4度目の名古屋訪問だが、実際に自分の目で確認できるのは初めてであり、とくに犬山から戻る際には写真を数多く収めた。

列車は上下線とも到着後わずか40秒ほどで乗降を終え、瞬く間に発車していく。するとすぐに案内放送が流れ、その説明が終わらぬうちに次の電車が入ってくる。平均して約2分間隔で入線と発車が繰り返され、これが一日中続く。通常の運用であれば乗客は溢れ、乗り間違いも頻発し、苦情が殺到するだろう。名鉄はそれに対して世界でも類を見ない独自の工夫を凝らし、混乱を防いでいる。ここに名古屋駅の面白さがある。

ホームは上下線の外側に加えて内側に島式が設けられている。列車が到着するとまず島式側のドアを開け降車のみを行い、数秒後に外側のドアを開けて乗車させる方式を採用している。これにより乗降客が同じホーム上で"こんにちは"をすることがなく、流れが一方向になる。結果として膨大な乗客を1分以内で処理できるのだ。ホーム上には複数の係員が配置され、赤旗で合図を送り合い、乗降完了を車掌に伝える。車掌はベルが鳴り終わるのを待たずに素早くドアを閉め、発車する。



名鉄は愛知県内を中心に縦横無尽に路線網を展開し、その多くが名古屋駅を経由する。すべてが構内の2線に集中するため、慣れない乗客には次の電車が目的地に向かうのか、あるいは停車するのか即座に判断しづらい。そこで路線ごとに色を割り当て、乗降位置を少しずつずらし、次発・次々発・さらにその次と別々かつ同時に整列できるよう工夫されている。足元の表示に加え、線路反対側の天井下には行灯型の案内標識が並び、次に到着する列車に対応するものだけ点灯する。制約の中でできる工夫は全てやり尽くしている感がある。

さらに驚かされたのは、多くの鉄道駅で一般化している自動放送の類を一切導入していない点である。過密ダイヤゆえに遅延や行き先変更など変動要素が多く、システム化が難しいのだろう。名古屋駅では職員が立て板に水のごとく淀みなく案内を放送する。ホーム全体を広く見渡せるよう、少し高い位置に"DJブース"と呼ばれるガラス張りの放送室が設けられている。案内モニターには時刻、路線、種別、行き先が表示されるが、これも自動化されている様子はなく、DJブースで逐一パソコン操作されているようだ。

異常気象時などでダイヤが大幅に乱れるとき、JRでは元のダイヤをそのまま遅らせて動かし、深夜時間帯に以降の便を休止する方法を取る。しかし名鉄は大胆に行き先の変更や車両の増解結を行い、早期にダイヤを回復させることを優先する。そもそも天気予報を踏まえた事前運休措置などもほとんどなく、目の前の状況で行けるところまで行く、というのがポリシーのようだ。これらも人間主体だからこその運用である。

社会全体が人間の介在を減らしデジタル化による効率化を進めるなか、名古屋駅では、部分的にITを導入しつつ、肝心な部分はあえて人間が担っている。極限状況において数十年もの間、この方式が維持されてきたことは、デジタルと人間の役割分担を考える上で重要な示唆を与える。同時に、複数の人間が適切に協働すればプログラムを超える成果を出せることの証左でもある。



前号に書いたように、ぼく自身プログラムを作り始めたこともあり、その強みと同時に非定型な事象への対応の難しさを痛感している。デジタルはあくまで道具であり、どこまでをプログラムに任せ、どこからを人間が担うのかが問われている。AIに意思決定を丸投げしても、より良い未来は訪れない。換言すれば、何がどの程度定型かを見極める力こそ、現代のIT人に必要とされる能力なのだろう。

そのうえで大切なのは、「人間が自ら頑張る余地を残す」ことだ。現代の閉塞感や停滞感の背景には、合理化の中で人間性が削がれ、意味づけが失われてきたことがある。名鉄名古屋駅の運用には確かに人間が存在している。最近の鉄道全般がつまらない一方であの景色を目にすると元気が湧いてくるのは、われわれの居場所を改めて認め直してくれているように感じられるからなのかもしれない。



プロフィール
太田 富英（おおたとみひで）
香川県高松市在住。スタジオとみっぺ代表（http://tomippe.jp/）
香川県立農業大学校非常勤講師（情報処理）。パソコンサポート、Webサイト制作等の事業を営む。スンドゥブとフォントと時刻表とカラオケが大好物。音楽は20年来のスピッツファン。お客様のつながりで2003年ごろ短歌を始める。今月の一首「友達が四人も乗れりと知りて子はバス通学にはや馴染みきぬ」

■過去の原稿一気読み！　Webマガジン「月刊CAMN！ET電子版」に2018年から連載している記事のアーカイブは こちら から。

福岡に棲む日々

九州にまつわるエトセトラ -その1- 篇

これは定説でも何でもなく私が昔から感じている事ですが、岡山の人はとにかく西に下りたがらない。それこそ九州などという島は海外とでも思っているのかと疑うくらい遠く感じてらっしゃる。もしかしたら韓国の方が近いくらいに考えてる？？

九州はビザもパスポートも要らないし、関門トンネルと関門大橋で本州ともつながっているんですよ。

西に下りたがらないという証拠としてまず、神戸に行くのも広島に行くのもほぼ等距離だというのに岡山の人は車の免許を取ると最初にドライブに出かけていくのは神戸、そりゃー神戸の方がおしゃれな感じもするし面白そうとは思うけど。。。

次に、私は広島の大学(広大ではない)に行ったのだけれど岡山を除く中国4県や四国から来ている学生は多く感じたが岡山から来ていた人は少なかった(あくまで私調べ)ような。

また高校で大学進学先を検討する際に私大進学の大抵の人はまず早慶、MARCHに関関同立、日東駒専に甲京龍近と首都圏と京阪神地区の大学を目指す。まぁ知名度や若者がより都会を目指す、このあたりもいた仕方なしか。。。

このあたりの私なりの考察はこのようになります。

古くは飛鳥時代、岡山は古代吉備王国と言われかなり繁栄していて、畿内に近い事もあってか割と早いタイミングで大和朝廷の勢力下に組み込まれていました。この頃は九州は熊襲に隼人、東国は蝦夷などと蛮族扱いされているような時代です。

奈良時代には吉備真備や和気清麻呂といった著名な貴族が現れ政権中枢にも深く関わるなど高い地位を得ていました。

だいぶ端折りましたが、こういった流れの中で強い中央意識が芽生え、西に下るというのは『都落ち』という意識がDNAに刷り込まれたのではないかと考えてます(大袈裟ですかね:^)。

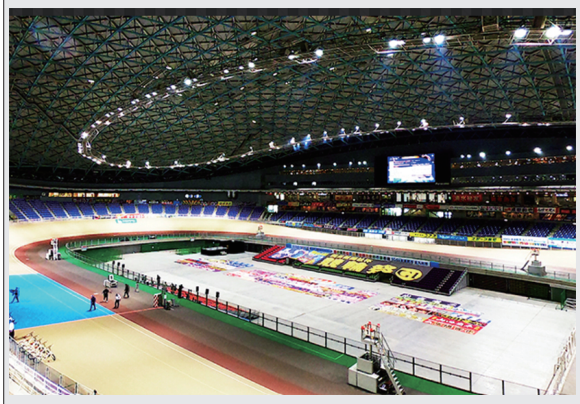
なんでこんな話題を書いているのかというと、ホント岡山の友人知人が博多に遊びに来ない！新幹線なら岡山⇒博多間は1時間40分くらい、東京に行く半分の時間。

美味しいごはん、美味しい酒、きれいな女性(女性の方ごめんなさい)、博多の街は夜の観光メイン？　だけど高速使って足を延ばせば熊本市内や長崎までも100km程度と有名観光地を回り放題（笑）。

福岡中心部からでも割とサクッと行けるスポットとしても大宰府天満宮に大宰府政庁跡や『令和』で有名になった坂本八幡宮（写真左上）や『鬼滅の刃』の聖地の一つ竈門(かまど)神社（写真左下）、その他にも白村江の戦い(663年)の後に築かれた水城跡や元寇(1274・1281年)の防塁跡などなど、夜を迎えるまで時間を潰すのに結構な観光スポット有るんですよ!!







競艇するなら福岡競艇、バイクレースなら飯塚オート、競輪するならメディアドーム（写真左）、競馬するなら小倉競馬場。。。

ちなみに競輪の発祥は小倉、競艇の発祥は大村(長崎)、ボートレーサー大和養成所は柳川市に在る。古い情報だけどパチンコでは店舗数日本一は福岡県、人口当たりの店舗数日本一は鹿児島県。ギャンブルネタばかりでイメージ悪いかな!?　全然荒れた街ではないですよ。

元々、九州各地は炭鉱町が多く鉱夫の娯楽という側面があったとか、炭鉱名残でいうと甘い銘菓が多いのも関係しているそう。

唐突ですが銘菓の話を出したついでに福岡土産にまつわる感動エピソードを2つ紹介して今号の記事を締めさせていただきます。

古い話から順に、、、

明太子の話、これはかなり有名な話で近年では博多華丸吉の華丸さん主演で舞台や映画化された『めんたいぴりり』でも馴染み。

明太子を最初に作ったのは『ふくや』というお店(会社)。（写真左）随分苦労してようやく商品化して人気も出たところで本来なら製法特許や商標登録などを取得して独占販売したいところですが、このふくやさん独占するどころか製法を聞きに来た人たちにそのすべてを教えてしまうんです。こうしたことから多くの明太子メーカーが生まれ切磋琢磨しながら山陽新幹線の開業を機に全国へと明太子が普及発展したそうです。



もちろん追随した各社も製法特許等々で独占を図る事無く今に至っています、こっちが先だいやこっちこそ元祖だ、なんて争いをしていたどこかのお菓子メーカーとは雲泥の差ですな。

次に割と最近の話。福岡に『二〇加煎餅(にわかせんべい)』というお菓子を製造販売する東雲堂さんという老舗メーカーが有るのですが、コロナ禍において観光客が激減したあおりで倒産の危機に瀕したそうです。

その際多くの競合お菓子メーカーが自社製品に並べてこの『二〇加煎餅』（写真左）を応援販売したそうです。その甲斐もあって業績を持ち直し、今ではキティちゃんとコラボするなどしてV字復活を遂げたようです。



2つのエピソードとも利他の精神が色濃く表れた博多商人の心意気を感じさせる感動秘話だと思います、自分もこのようで有りたいですね。

何かまとまりのない乱文でしたが次号でもみんなが九州に遊びに来たくなるような九州にまつわるエトセトラ -2- をお届けしたいと思います。



profire　おぐらさん

IQ71.

倉敷生まれ博多在住

岡山離れ早20年余、放浪の末に脱サラして11年前から福岡に定住。

一人遊びに明け暮れる日々、一生懸命人生を謳歌中。

締め切りは
2025年12月19日必着

PRESENT

**今月も豪華プレゼントを
ドーンと用意しました！！**

**プレゼントの
応募方法はこちら！**

住所・氏名・年齢・学校名（または職業）・電話番号・ｅメールアドレス・欲しい商品の番号、今月号で面白かった記事名とその理由（いくつでも可）を明記の上、〒700-0975　岡山市北区今７-２２-１７
寺尾第一ビル３Ｆ　CAMNET編集部まで、はがき、　FAX又はＥ-mail（cam@camnet.jp）でご応募下さい。

PRESENT 1 ナイトミュージアムが楽しい、泊まれる博物館 奥出雲 多根自然博物館 宿泊券 [島根県]

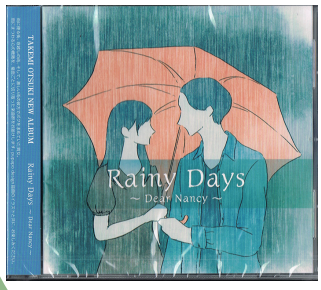




ペア 1組様

提供/全国国際ツーリスト

PRESENT 2 OTSUKI CD Rainy Days ～Dear Nancy～



3名様

提供/"radio Camnet"くらしき松島局

PRESENT 3 人と科学の未来館 サイピア プラネタリウム観覧券 [岡山市]



ペア 2組様

提供/"radio Camnet"サイピア未来局

PRESENT 4 中島キ44-Ⅱ 二式単座戦闘機 鍾馗 1/72scale

2名様



提供/月刊CMNET編集部

PRESENT 5 GAIA'S/ORTEGA'S RICK DOM(GQ)



1名様

提供/月刊CMNET編集部

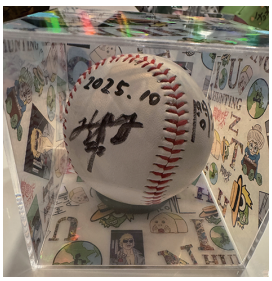
PRESENT 6 ゴッホ「星月夜」壁掛け (約28×22cm)



2名様

提供/月刊CMNET編集部

PRESENT 7 岡山芸人ハンティングゆう サインボール



3名様

提供/"radio Camnet"おかやま表町３丁目局

CAMNET 2025年 11+12月号

CONTENTS

1 テラミン 「10/13で閉幕となった大阪・関西万博の西ゲート」
1 今月の表紙はこの人！ 「おぐらさん」
2 感想の小箱 「昭和レトロから平成レトロへ」
2 月の出ぬ間に 「私「うみ」を掲載いただきました！「うさぎのきもち」誌VOL.7」
3 漢・賢一のpoint of view 「秋は短し」
4 雲心月性！
5 算盤組立職人 「面接は舞台」
5 和、のカッコわるくたってええやないの 「人生楽しんでる人は“楽”をしてない」
6 ハンティングの自分の心をハンティング 「ライブ」
7 日本人妻の歯ぎしり 「みんなどこかの外国人」
8 A New Direction 「looking ahead to the unkown」
9 小橋敏弘のニッポン大好き！Hello Japan 「続スイスの普通の村 Escholzmatt」
10 パソコンオタクのなんちゃって哲学 「過酷な鉄道運用からプログラミングの要点が・・・」
11 福岡に棲む日々 「九州にまつわるエトセトラーその1ー篇」
12 CONTENTS
13 プレゼントコーナー
14 広告

CAMNET / radio Camnet

campus network magazine
web magazine &
internet radio station



http://camnet.jp
cam@camnet.jp

学生と、社会人と外国人のちょっとユニークな
コラムマガジン月刊CAMNETがお送りする

メディアミックスプログラム radio Camnet！
只今、14局 のローテーションで世界70億ネットに
向けて絶賛放送中！

あなたの街で、あなたの時に
とどけ、VOICE OF CAMNET☆★



月刊CAMNET 11+12月号
隔月20日発行
2025年10月20日発行
発行所／S.E.Company
発行人／平松 将史
編集／CAMNET 編集部
〒700-0975 岡山市北区今7-22-17 寺尾第一ビル 3 階 TEL086-242-3766